

■ 2026年度第37回 あいちサマーセミナーに参加してきました

第37回あいちサマーセミナーが、7月18日(土)名古屋市中村区にある学校法人同朋学園 同朋高校を会場として開催されました。愛知支部で講座を開催してきました。

当日のお天気は真夏のような暑さで、時折流れる風が涼しかったです。

3限目(14:50~16:10)の時間で、テーマを「南海トラフ」×「住まいの防災学」で、講師を前半に福田啓次さん(住生活環境研究所)、後半に甫立浩一(株式会社 宮工務店)で行いました。

司会は、入谷さんをお願いをしました。参加者は、高校生が5名、一般が1名の計6名でした。

まずは、南海トラフ地震が起こったら想定されるDVD映像を見てもらい、地震が発生した場合を想定してもらいました。その後、福田さんが、住んでいる所の地域の水害のリスクやハザードマップの読み方を説明しました。甫立は、寝ている部屋での安全対策を図面で表現して、本日、帰られてからの自宅の部屋の対策や対応を想像してもらいました。

参加者からの感想は、「南海トラフ地震は、絶対に来ると言われているので、この講座を聞いて勉強になった。同じ名古屋でも、場所や立地によって、全然違うことが知り驚きでした。耐震性のある家でも揺れることに驚いた。本当の地震では、エアコンやテレビが飛んでくると聞いて、気を付けないといけないと思いました。」、「今回の講座を聞いて、南海トラフの怖さを改めて、感じました。いつ、どこで起こるのかわからないからこそ、家での防災の備えが必要だし、ハザードマップの良く読むなどの工夫が大切だと知りました。南海トラフは、地震のほか、津波や洪水、液状化高潮などの様々な被害が及ぶという事が分かりました。防災アプリも知り、使ってみたいと思いました。家の中でも家具の固定をしたり、配置を変えたりしたいと思いました。」、「地震が来た時の準備をしていなくて、今回の講座を聞いて、しっかりと準備をしようと思いました。」、「改めて、防災意識が高まりました。良いきっかけとなり、家族にも伝えたいと思いました。」、「親しみやすさが最初からにじみ出っていて、話が分かりやすかったし、問いかけをしてくれて、考えが深まりました。映像があり、何をすべきか、どういうことが起こるのかが分かって良かったです。話していることが身近でわかりやすかったです。図や写真、スライドが多くて、今何を話されているかも分かりやすい。質問にも新設に答えていて、素晴らしいなと思いました。」と、参加者にとって身になる講座ができました。(報告:ほどで)

註:会場内での撮影が禁止されているので →



あいちサマーセミナー主催者側のHPに 掲載されている別の講座中の様子です

■ 新たな住生活基本計画と生活資本

～居住福祉と生活資本の構築(188)

岡本 祥浩

2026年3月27日に「新たな住生活基本計画」の閣議決定がなされた。議論の場が、都道府県に移るとともに、居住水準の面積要件が記載されなくなったなど様々な方面で新たな住生活基本計画についての評価が示されようとしている。小稿では「生活資本」を軸に「新たな住生活基本計画」を考えてみたい。

基本方針

「新たな住生活基本計画」は、「2050年の日本社会においても、住まいは生活の基盤である」との認識から始まる。しかしながら「人口、世帯数、子育て世帯数の減少や高齢単身世帯数の増加」などの住宅市場の前提が大きく変容した。そこで、これまで良質な住宅を供給してきたのであるから住宅市場の主たる対象を新築供給からストック活用に焦点を移そうと言う。そして地方公共団体が居住を支えるあらゆる関係者をまとめる要の役割を担う、と言う。

主な取組み方策

主な取組み方策として次の四点を提示している。①ニーズに応じた住宅を適時適切に確保できる循環型市場の形成。②インフラ・居住環境の整った既存の住宅・住宅地の市場を通じた本格的な有効活用。③分野横断的な連携による「気づき」と「つながり」のある居住支援の充実。④既存住宅を最大限に活用する持続的な住宅市場を支えるあらゆる主体の連携・協働の推進。結局、③を除けば全てが「住宅市場」である。

論点と課題

では、今回の住生活基本計画で何が論点になり課題となるだろうか。雑誌『住宅』（2026年5月号）の座談会では「2050年からのバックキャスト」が評価されていたが、「住宅市場の進化を通じた住宅ストックの価値の最大化」については認識の一致が見られていない。それにも関わらず本計画は「住宅市場」を基盤とする計画である。否、「計画」と言うより「ビジョン」だと述べられている。とするならば、どこに本計画を実現する担保を見出せば良いのだろうか。それは「住生活に関わるあらゆる関係者と協働した官民連携」の要となる地方公共団体のこれからの計画に違いない。

ここで根本的な疑問が湧いてくる。本計画の認識では、日本の住宅ストックを良質としているが、最低居住面積水準未満の世帯が解消されない中で2000年代前半をピークに着工住宅の規模は縮小している。つまり、劣悪な住宅ストックを解消するという課題を棚上げした議論になっていないだろうか。そのことは、同時に住宅のアフォーダビリティ実現の議論をも避けていないだろうか。更に居住の「気づき」と「つながり」を取り上げているが、大家が引き受けざるを得ない「孤立死」や「家賃滞納」「賃貸借契約を継続できない」多くの問題の責任の所在が明らかでない。一人ひとりの居住保障の責任の所在が明確でない。そのことが、大家の拒否感を生み、住宅確保要配慮者を生んでいるのではないか。残念ながらそれへの言及は無い。

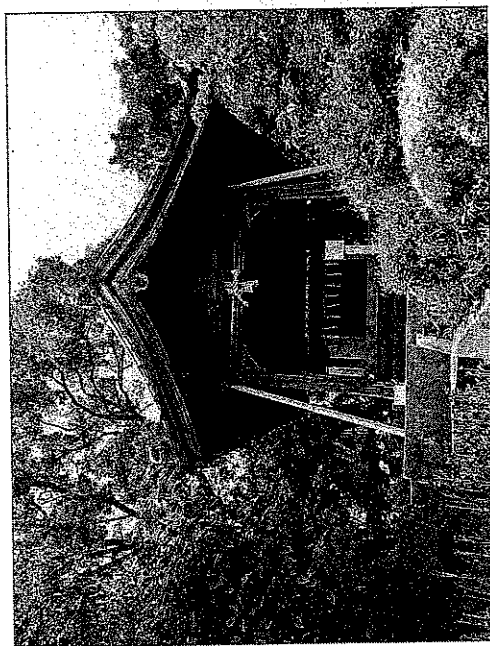
（中京大学教授、新建会員）

歴史から見た町名

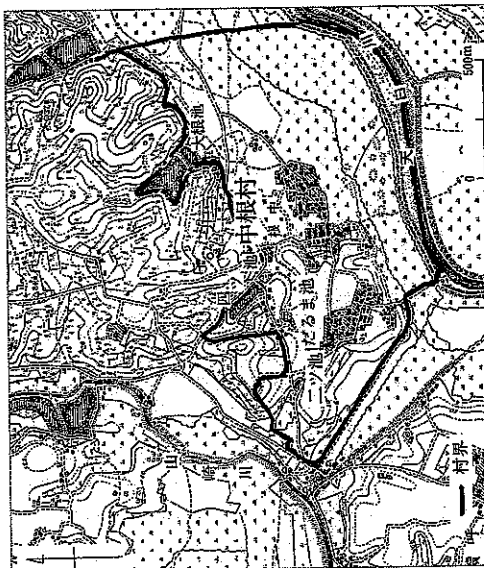
中根町 (なかねちょう)
(瑞穂区)

中根町はかつての中根村の一部であり、鎌倉時代に書かれた、東鑑(あすまかがみ)には長包(ながこ)ノ荘とあって、これを奈加禰(なかね(長根))と呼んだのが中根村の始めとあります。中世の中根村は、北は八事丘陵の南西端に位置し、南は天白川の河岸段丘上にあり、現在の中根町を中心に10町と釜塚町など3町の一部からなる極めて広範囲にわたります。旧中根村は農業のみで生活していたため、戸口に対して田畑が不足していたことから、近隣の八事、野並、山崎村あたりへ出作することがあったと云われています。

中根村は明治11年愛知郡弥富村となり、明治39年愛知郡呼続町を経て、大正10年名古屋市南区呼続町、昭和13年に昭和区弥富町、昭和19年に瑞穂区に移り、昭和27年に弥富町の一部から中根町が生まれました。



観音寺境内 北条八幡社 中根南城の望楼のあった所といわれている



明治初年の中根村地域

旧中根村には史跡が多く残されています。中世末期には織田と今川の軍勢が激しく争った鳴海や桶狭間に近い所でもあることから、織田軍によつて中根三城と呼ばれる三つの城が築かれました。中根北城は弥富小学校の敷地あたりにあったといわれています。中根中城は現在の弥富通3丁目交差点南東あたり、本城であった中根南城は丸根町2丁目の観音寺を含めた城内で西八幡社の東あたりの丘陵地とされています。旧中根村は鎌倉街道(上野古道)の通り道であり、山崎川や天白川の水運が利用できる地であったことから、こうした城を築く適地であったのではないのでしょうか。また、明治9年には、南城址から約800m西、旧愛知郡中根村仁所(現軍水町)から、弥生時代の銅鐸1個が出土しており、重要文化財に指定されています。中根町一帯は、現在では住宅地となっています。

■ 新建愛知支部 2026 年 7 月 支部幹事会だより

7 月 15 日（水）19：00～21：00（リアル＆オンライン）

参加者／入谷、奥野、河合、中森、福田、甫立、壬生

- (1) 愛知サマーセミナー 7/18（土）14：50～16：10 に同朋高校で、参加をすることになりました。
 - (2) 三重県大紀町の新庁舎建設についての相談が寄せられて、幹事会で意見交換をしました。
 - (3) 建築とまちづくり in 埼玉（最寄り駅は浦和駅）が、10/3～10/4 での開催が決まりました。
 - (4) 建築基準法の改正などについての、仕事での経験や意見交流、勉強会を開催しようと思います。
 - (5) 皆さまから、企画・見学会案を募集します。楽しく勉強と交流のできる企画をつくりませんか？
- 今後の幹事会は、8/19（水）、9/16（水）、10/21（水）、11/18（水）午後 7 時で日程の確認をしました。



■ 猛暑の中、涼しさを求めての散策

立秋が過ぎ暦の上では秋ですが、今年の暑さには「暑いですね～」以外の挨拶の言葉が出てこない毎日です。

近場で涼しさを感じられる場所ということで、岐阜県瑞浪市の竜吟渓谷に出かけてきました。落差が 16m ある竜吟の滝を代表する「一の滝」をはじめ七つの滝が連続する景勝地です。昔、雄竜と雌竜が互いを慕って呼び合ったという伝説に相応しい風情がありました。また、紅葉の木がたくさんあり、春は新緑を、秋は紅葉を楽しめそうな場所でした。

当日は、滝の水量が少なめでしたが、木陰が続くおかげで気持ち良く歩くことができました。同行した山友の一人は、恵那出身ということで、小学生のころ友達と来て、「二の滝」で泳いだ記憶があると話してくれました。

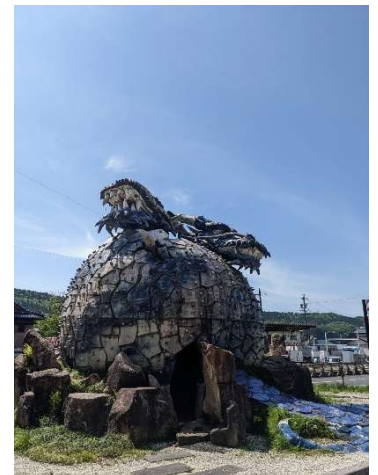
（現在は、遊泳禁止の看板がありました）

瑞浪市も焼き物の町なので、登山口近くに地元の子供たちが造った竜の卵を模したオブジェが設置されています。また、R19 沿



いにドラゴン21駐車場もあります。ここにも焼き物で竜を模した大きなモニュメントがあります。JR 中央線「釜戸」駅から、駐車場まで徒歩 20 分、駐車場から登山口まで 500m、登り坂を上がった登山口前にも駐車場があります。名古屋からも近く、整備されたハイキングコースです。トイレも整備されているので、季節を違えてまた出かけた場所です。

（奥野）



■ 愛知支部事務局・財政からのお願い

新建会費『2026 年後期分』請求をお送りしています。

2026 年以前未納の方にも、同様に 2026 年後期分と合わせて請求させて頂いています。

新建会費は、前納制となっていますのでご協力よろしくお願いします。

※ 振込手数料は、各自でご負担をお願いします。